

IBMは野洲から撤退するな!

地域経済、雇用に責任を持て!

IBMは退職勧奨・退職強要をやめよ!

IBM/DTIは森川・永井さんの解雇を撤回せよ!

IBMは責任をもって帰任社員の職場を見つけよ!

・YSC、日立GSTへの「移籍」をIBMからの出向に戻せ!

ご意見は、組合ホームページ: <http://www.bekkoame.ne.jp/i/jmiu-ibm> 組合mail: jmiu-ibm@i.bekkoame.ne.jp

労働相談一般は、滋賀県労働組合総連合

(Tel.077-521-2536 Fax.077-521-2534 e-mail: kenroren@mb1.kisweb.ne.jp) までお寄せください。

かがやき

11 号

(2005年07月22日)

JMIU日本IBM支部

野洲分会

京セラ、日本IBMから野洲事業所を買収

7月1日、マスコミを通じて日本IBMが京セラへ野洲事業所の土地(約19万5464㎡)、建物などの資産を売却したとの発表がありました。

7月7日IBM本社を相手の団体交渉より

(組合) 野洲事業所をどうするのか。日本IBMからもの作りがなくなるのか。

(会社) 譲渡契約は終わったけれどもリース計画は今後8月下旬までに詰めていく。事業部単位に決定したら発表するだろう。もの作りとは何かだが、大和E&TSで少しは作っている。往年の野洲ほどでは確かでないが。

(組合) 野洲には17~18の会社が入っているが、藤沢同様小さなIBMとなるのではないか。

(会社) 野洲のIBM社員は250人ほど、出向が100人弱で他は2500~2600人だ。

(組合) リース契約がどのくらいになるか、決まったら知らせてほしい。

液晶会社DTI解雇問題

団体署名: 1781通 個人署名: 10830筆 (7月現在)

昨年4月、親会社IBMが実質的に支配する液晶子会社DTIから解雇された永井さん、森川さんの解雇撤回を求める裁判で、解雇無効の公正判決を要請する団体/個人署名活動は7月に入り、ついに個人署名10,000筆を超えました!

解雇争議弁護団の森川明弁護士(京都第一法律事務所)からのメッセージの抜粋です。

本件は、多国籍企業であるIBMの労働者いじめの体質が具現した事案であります。従って森川、永井さんの闘いは、多国籍と政府の横暴に対する挑戦という重要な意味があります。

被告のDTIは、事業閉鎖に伴う解雇は当然と主張し、もう一人の被告の日本IBMは、2人とは雇用契約が無いのであるから関係がないと主張します。

グローバル化した経済の中で国際競争力を維持するためには労働者の権利や生活などかまってはおられず、この程度の整理解雇は合法である、としたいのでしょう。各法律を単純に理解すればそのようになるのですが、事実の経過や本質を十分に解明することによって形式的な法律の壁を突破しなければなりません。

しばらく続く訴訟となりますが、ぜひともお二人へのご支援を宜しくお願いいたします。



IBM 野洲事業所内の最近の動き

IBM 残留部門

半導体製造の後工程（パッケージ開発）とテスト技術は IBM 本体に残っていますが、管轄が大和に変更になり、ゆくゆくは大和へ移転する計画だそうです。

またサービス関連部門 AMS も9月末には閉鎖されるため社員はそれまでに職場を探さなければならぬそうです。

組合は、本人の希望、意思を尊重した職場を要求しています。



サンミナ SCI

以下はサンミナ SCI 社員の IBM への強制帰任問題に関する7月7日の団交のやりとりです。

(組合) 3月に強制帰任させられた108人の身の振り方の現状はどうなっているか。

(会社) 50人ほどは退職または転籍、社内配置が40名、残りがOJTだ。仕事のない状態は解消した。

(組合) 50人の内訳は。

(会社) 退職30人ほど、関連会社等への転籍が20人ほどだ。

(組合) 関西での行き先はどのようにさがしたのか。

(会社) なかなか難しい。探しているが。

(組合) 会社が強制帰任させたのではないか。会社の作り出した事態への対応として多少無理しても探していただきたい。簡単に転勤はできない。

IBM 他の事業所の最近の動き

日立 GST

藤沢ハードディスク部門の日立への売却の際の社員の移籍を出自に戻す裁判闘争で先日14日、横浜地裁にて証人尋問が行われました。法廷で小樽商科大学の先生は当会社分割について「社員は移籍を拒否する権利」があるとする承継拒否権を主張。会社分割に関しての初の裁判に法曹、学会関係者も見守っており大きな影響があるとも訴えました。

パソコン事業部の売却問題への影響も当然予想されます。

組合掲示板・情報について

健康管理室前（1号ビル2階社員ルーム前）に組合掲示板が設置され、組合情報を掲示しています。

毎週 IBM の職場で配布されている労組機関紙「かいな」は表紙に記載されてる組合 IIP から閲覧可能です。

IBM 野洲事業所の京セラへの売却と平行して、IBM は事業所内で IBM 本体に残留している部門の関東移転計画も進めています。IBM は地域社会への責任を放棄しようとしています。地域のみなさまのご意見ございましたらぜひ表面の連絡先までよろしくお願いします。

